



## 市消防操法訓練大会 大賀分団が優勝

(3月21日 成羽運動公園)

「第6回市消防操法訓練大会」が行われ、小型ポンプの部に15チームが出場しました。各チームとも日ごろの練習成果を十分に発揮し、接戦の結果、川上方面隊大賀分団が優勝。このほか準優勝は高梁方面隊巨瀬分団、3位には有漢方面隊有漢西分団が入賞しました。

優勝した大賀分団は、5月16日(日)に岡山市で行われる県大会に出場します。

## 思い出の学びやに別れ

(3月20日 高倉小学校)

児童数の減少で川面小学校と統合となった高倉小学校、高倉幼稚園の閉校式が行われ、それぞれ137年、55年の歴史に幕を閉じました。

式には、同日卒業の6年生3人と4年生2人、地元住民ら約180人が出席。校旗が返納され、児童が別れの言葉を述べ、出席者全員で校歌を斉唱しました。式の後は、記念碑の除幕式、お別れ会も行われました。



## 青少年の健全育成に尽力

(3月19日 高梁国際ホテル)

高梁市青少年健全育成財団は、青少年の健全育成に長年地道な活動を続けてきた市内の団体を表彰しました。表彰されたのは、津川スポーツ少年団、手話サークルドリーム、松原っ子を育てる会、川上野球スポーツ少年団の4団体。

財団は、昭和63年からこれまでに84団体5個人を表彰しています。



## ふるさとをきれいに

(4月4日 有漢地域センター周辺ほか)

「ごみ拾いクリーン作戦」(市環境衛生協議会有漢支部主催)が行われました。有漢地域全体で、毎年この時期に実施されており、有漢地域局周辺や通学路をはじめ、各地でごみ拾いや草刈りなどが行われ、地域がきれいになりました。



## 100歳 おめでとうございます

3月14日から31日の間に100歳(明治43年生まれ)の誕生日を迎えられた2人を、市職員らが訪問し記念品や花束を贈って長寿を祝いました。

市内で100歳以上の方は4月1日現在で34人(男性8人、女性26人)。



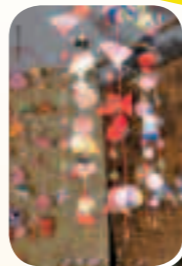
佐藤みさ子さん  
(備中町布賀)



小坂ツル子さん  
(宇治町穴田)

# カメラ

あらかると



## あでやかに雛まつり

(4月3・4日 本町地区・紺屋川筋)

江戸時代の商人町の風情を残す本町地区で「備中たかはし城下町 町家通りの雛まつり」(本町活性化委員会主催)が開かれ、家々に飾られた江戸時代から現代までのあでやかな雛人形や手づくりのかわいらしい雛飾りが、市内外から訪れた多くの人の目を楽しませていました。

また、紺屋川筋のソメイヨシノも満開となり、まつりに彩りを添えていました。

## 高梁の魅力を学んで

(3月26日 本町)

吉備国際大学の1年生が学んでいる「備中高梁学」を市民の皆さんにも学んでもらい、高梁の魅力を再発見してもらおうと、出前講座を行いました。

3月中に3回開催し、最終回のこの日のテーマは「鉄道の近代化と産業遺産」(小西伸彦・社会学部准教授)。ほかに「高梁川の水の健康カルテ」(村本茂樹・国際環境経営学部長)、「高梁のフラクタルな魅力」(臼井洋輔・文化財学部教授)があり、さまざまな角度からとらえた高梁についての講義に、受講者は熱心に耳を傾けていました。



## 3人乗り自転車 安全に利用して

(3月25日 元市民会館)

市は、4月から大人と幼児2人が同乗できる3人乗り自転車の貸し出しを開始しました。普及促進と、自転車の安全な走行・マナーの啓発を図る目的で実施するもので、10台を購入。県内自治体で初めての取り組みです。

貸し出しに先立ち、申し込み者を対象とした交通安全講習会を実施。参加者は、県交通安全協会指導員から指導を受けながら、実際に親子で自転車に乗って運転を体験し、乗り方や交通ルールを確認しました。

